

令和4年度 第1回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会拠点部会事務局 会議録	
日 時	令和4年4月5日(火) 13:30~15:00
開催場所	基幹相談支援センター B室
出席者	(ほどがや希望の家) (偕恵いわまワークス) (保土ヶ谷区基幹)
欠席者	—
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ <del>非公開</del>
議 題	<p>今年度より新規設立の部会、「地域生活支援拠点部会(以下、拠点部会)」の方向性の検討の為、偕恵いわまワークス、ほどがや希望の家、基幹相談員3名で事務局を開催した。</p> <p>●部会の運営方法について 前身の住居部会とは趣が異なるため、部会の名称に引っ張られないように、目的や内容は明確に伝えるようにしなければならない。</p> <p>市の自立支援協議会の拠点検討では、他区の事例などはあまり把握していないが、瀬谷区では緊急時予防対応プランを用いての事例検討などに取り組んでいたと記憶している。区の自立協レベルなら困難ケースの検討をやっていければと思う。</p> <p>拠点機能のすべてに取り組むのは、すぐには難しい。しかし、機能の一つに焦点を当てて開催はできると思う。「緊急時予防対応プラン」や区内の困難ケース(在宅、不通所、単身者など、福祉サービスの薄いケース)について、検討し「地域課題の抽出」などができればと思う。</p> <p>⇒事例検討を中心に展開していくことで方向性は一致。 ⇒人数が多すぎれば事例検討は難しくなる。多い場合には同じ内容について2回開催などで対応できればと思う。</p> <p>●開催案 初回: 拠点部会設置の経緯、地域生活支援拠点とは・・・の説明 ↓ 2回目以降: 事例検討(年3~4回) 予定、参加者が多かった場合には、同一事例を二回に分けて開催、その際には時間帯をずらす等参加しやすい仕組みを作る。</p> <p>●参加者について 特に制限は設けない。部会の説明を受け参加したい人に参加してもらう。</p> <p>●部会の目的について 「緊急ケースになりうる困難ケース(完全在宅や不通所、単身生活等で福祉サービスへのつながりの薄いケース)を検討し、地域課題の抽出とその解決を図る」</p>

●事務局メンバーについて

希望の家、いわまワークスには引き続き事務局メンバーとして参加していただきたい。  
→了承いただいている。

その他のメンバーについて、保土ヶ谷区高齢障害支援課拠点担当、生活支援センター  
自アシ、恵和、夢 21 に声掛けをしたい。

●次回について

事務局メンバーで、集まり全体会以降で初回開催予定

次回事務局 5月11日 (水) 13:30～